



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社

コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 横田 修 TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,321	5.9	175	△27.4	202	43.3	51	△37.3
23年3月期第1四半期	8,798	△15.0	241	△37.5	140	△75.8	81	△74.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 263百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.21	—
23年3月期第1四半期	1.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	49,456	22,265	42.3
23年3月期	48,485	22,321	43.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 20,918百万円 23年3月期 21,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭
24年3月期(予想)期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,500	8.6	450	△25.6	500	△1.0	160	△0.9	3.82
通期	40,000	9.5	1,200	△11.0	1,300	6.6	1,500	13.3	35.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	45,229,332 株	23年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,348,479 株	23年3月期	3,348,358 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	41,880,943 株	23年3月期1Q	41,886,921 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興に向けサプライチェーンの立て直しが進み、生産活動に回復の動きが見られたものの、円高の継続、雇用情勢や所得環境の低迷とともに、電力不足、原子力災害の影響により、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、一部に輸出の持ち直し、設備投資の動きが見られましたが、東日本大震災の影響を受け低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは販売活動の強化、新技術・新製品の開発、生産効率の向上、原価低減や経費削減に加え、節電対策にも積極的に取り組みましたが、円高による競争力の低下や収益圧迫もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は93億21百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は2億2百万円（同43.3%増）、四半期純利益は51百万円（同37.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、ユーザーの視点に立って、環境に優しく、作業者の負担が少ない、生産性向上を目的とした切断機械システムの開発と販売に取り組みました。特に、粉塵ヒューム・閃光が少なく、環境に優しいウォータージェット切断機「KOIKEJET」や、ストッカーを利用した自動搬出・搬入システム、歩留まり管理、集塵装置など多岐にわたる総合生産管理システム「トランスフォーマー・プロダクション・システム」が高い評価を頂きました。また、簡易型NC搭載切断機「PNC-10」を市場に投入し、好調な販売が続きしました。

海外では、6月に上海で開催された北京エッセンショーにレーザー切断機、プラズマ切断機など各種の機械を出展するとともに、アジア市場へ投入した小池酸素（唐山）有限公司製の普及型CNC切断機の販売が引き続き好調で、初めてバングラデシュの造船所へ納入するなど、納入先国数を大幅に増やしました。

生産面においては、土気工場（千葉県千葉市）における新生産ラインを軌道に乗せるとともに、電気の大口需要家として15%電力削減に向けて、生産性を低下させることなく節電対策を実施しました。しかしながら、厳しい価格競争と円高の影響により収益は減少しました。

その結果、売上高は37億7百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は99百万円（同20.7%減）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、主要事業所にて、シェアアップおよび新規ユーザー開拓を継続して推進するとともに、新分野へのアプローチの開始とガスアプリケーションの確立を図り、受注獲得に向け営業を強化しました。また、東日本大震災で影響を受けたユーザーに対する復旧作業にあたり、ガスの安全確保・安定供給に努めましたが、ユーザーの生産活動の縮小に伴い、出荷量は低調に推移しました。

医療ガスにおいては、東日本大震災後、「KM-X」（超小型酸素濃縮器）が注目されるとともに、電源や吸引用配管設備の不要な「ヨックスジェット」（ポータブル吸引器）の販売を増加させました。また、「KM-X」と「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）などの在宅医療機器のレンタルを強化し、院内機器の主力製品「ヨックスディスポ」（ディスポーサブル吸引器）の販売と合わせ好調に推移しました。

その結果、売上高は37億89百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は2億77百万円（同29.4%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、鉄鉱石・石炭の高騰による溶接材料メーカー各社の価格改定が5月にあり、当社販売先への対応とともに、値上げ前需要に対応しましたが、東日本大震災の影響もあり販売量は大幅に減少しました。

溶接機器においては、東日本大震災の復興需要に係る引合いが多数あり、溶接機および安全機器などの受注活動を積極的に推進しました。また、5月から逆火防止器を主体としたアポロUL認証取得記念セールを開始し、品揃えの強化を全面に掲げ、ワンタッチ接続継ぎ手、逆火防止器、溶断溶接用ホースセットの販売強化に取り組みました。さらに、節電が要求される今夏に向け、季節商品の工場用扇風機、スポットクーラー、気化熱式冷風機などの取扱商品を全国展開により拡販を図るとともに、円高を生かした輸入商材の販売に努めました。

その結果、売上高は15億39百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は30百万円（同125.5%増）となりました。

その他

ガス機器においては、国内の液晶ディスプレイメーカー向けに新型排ガス処理装置の開発を推進するとともに、中国への進出を計画している設備投資意欲が旺盛な台湾のメーカーに対し販売促進を行いました。また、中国においては5月に上海で開催された国際太陽光展示会への参加による拡販および新規販売店の獲得などの活動を実施しましたが、円高の影響などにより収益は減少しました。

その結果、売上高は2億85百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は30百万円（同56.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、494億56百万円であり、前連結会計年度末に比べ9億70百万円増加しました。

流動資産合計は289億16百万円で、前連結会計年度末に比べ10億96百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕掛品などのたな卸資産の増加10億34百万円によるものです。

固定資産合計は205億39百万円で、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少しました。これは主に所有株式の時価の下落など、投資その他の資産の減少75百万円によるものです。

(負債)

流動負債合計は210億75百万円で、前連結会計年度末に比べ11億36百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加9億73百万円によるものです。

固定負債合計は61億15百万円で、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少しました。これは主に長期借入金の返済と社債の償還によるものです。

(純資産)

純資産合計は222億65百万円で、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に、配当金の支払と為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は42.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。詳細につきましては、「平成23年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析②次期(平成24年3月期)の見通しを参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,371	7,466
受取手形及び売掛金	13,098	12,150
有価証券	74	74
商品及び製品	3,909	4,505
仕掛品	1,794	2,063
原材料及び貯蔵品	1,498	1,668
その他	1,341	1,276
貸倒引当金	△267	△288
流動資産合計	27,820	28,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,984
機械装置及び運搬具（純額）	1,596	1,561
工具、器具及び備品（純額）	528	495
土地	9,448	9,424
リース資産（純額）	730	757
建設仮勘定	393	437
有形固定資産合計	16,724	16,660
無形固定資産		
のれん	212	208
リース資産	12	25
その他	405	410
無形固定資産合計	630	644
投資その他の資産	3,309	3,234
固定資産合計	20,664	20,539
資産合計	48,485	49,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,313	10,286
短期借入金	3,711	3,851
1年内返済予定の長期借入金	969	925
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	433	120
賞与引当金	358	469
役員賞与引当金	55	71
受注損失引当金	23	7
製品保証引当金	9	8
その他	4,464	4,733
流動負債合計	19,938	21,075
固定負債		
社債	270	220
長期借入金	873	831
退職給付引当金	299	307
役員退職慰労引当金	182	188
資産除去債務	9	9
その他	4,590	4,559
固定負債合計	6,225	6,115
負債合計	26,164	27,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,683	16,453
自己株式	△819	△819
株主資本合計	22,249	22,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	285
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	△160	△172
為替換算調整勘定	△1,393	△1,214
その他の包括利益累計額合計	△1,228	△1,100
少数株主持分	1,300	1,346
純資産合計	22,321	22,265
負債純資産合計	48,485	49,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,798	9,321
売上原価	6,334	6,991
売上総利益	2,464	2,329
販売費及び一般管理費	2,223	2,154
営業利益	241	175
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	25	24
受取賃貸料	21	22
物品売却益	6	11
為替差益	—	5
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	15	15
営業外収益合計	72	81
営業外費用		
支払利息	31	25
賃貸費用	17	22
為替差損	114	—
その他	9	7
営業外費用合計	173	54
経常利益	140	202
特別利益		
固定資産売却益	1	1
貸倒引当金戻入額	7	—
収用補償金	—	3
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	188	—
その他	0	—
特別利益合計	196	5
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
減損損失	5	26
災害による損失	—	1
投資有価証券評価損	—	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
工場移転費用	—	3
その他	—	0
特別損失合計	46	46
税金等調整前四半期純利益	291	160
法人税、住民税及び事業税	93	116
法人税等調整額	80	△61
法人税等合計	173	54
少数株主損益調整前四半期純利益	117	105
少数株主利益	35	54
四半期純利益	81	51

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117	105
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△191	△39
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	59	197
その他の包括利益合計	△132	157
四半期包括利益	△15	263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	191
少数株主に係る四半期包括利益	48	72

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,432	3,523	1,571	8,527	270	8,798	—	8,798
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,432	3,523	1,571	8,527	270	8,798	—	8,798
セグメント利益	125	214	13	353	68	422	△180	241

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△180百万円には、のれんの償却額△34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円及びたな卸資産の調整額49百万円、その他の調整額36百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,707	3,789	1,539	9,035	285	9,321	—	9,321
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,707	3,789	1,539	9,035	285	9,321	—	9,321
セグメント利益	99	277	30	407	30	437	△262	175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△262百万円には、のれんの償却額△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円及びたな卸資産の調整額△70百万円、その他の調整額79百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	285百万円	308百万円
のれんの償却額	34	38

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	4,150	142.1
高压ガス (百万円)	89	92.8
報告セグメント計 (百万円)	4,239	140.6
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	4,239	140.6

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	4,170	290.7	5,605	196.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	3,707	108.0
高压ガス (百万円)	3,789	107.5
溶接機材 (百万円)	1,539	98.0
報告セグメント計 (百万円)	9,035	106.0
その他 (百万円)	285	105.2
合計 (百万円)	9,321	105.9

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。